

(1)児童の体力の現状

○握力は、男女とも2、3、5、6年で平均記録が県平均を上回っており、筋力の定着に成果があった。  
 ○反復横とびは、2、4、5、6年の男子、1、5、6年の女子の平均記録で県平均を上回っていることから、敏捷性に成果があった。  
 ○立ち幅跳びは2、5、6年の男子、1、3、5、6年の女子で県平均を上回っていることから、筋力・瞬発力に成果があった。  
 ○上体起こしは、1、4年の男子、1、4、5、6年の女子で県平均を上回っていることから、筋力と筋持久力に一定の成果があった。  
 ○ソフトボール投げでは、2、3、5、6年の男子、2、5、6年の女子で県平均を上回っていることから、巧緻性に一定の成果があった。

●長座体前屈は、2、3、4、6年の男子、1、2、3、4、5年の女子で県平均を下回っており、柔軟性に課題が見られる。  
 ●50m走は、1、3、5、6年の男子、1、3、4、5、6年の女子で県平均を下回っており、スピードに課題が見られる。  
 ●シャトルランは、3、5、6年の男子、2、3、4、5、6年の女子で県平均を下回っており、全身持久力に課題が見られる。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

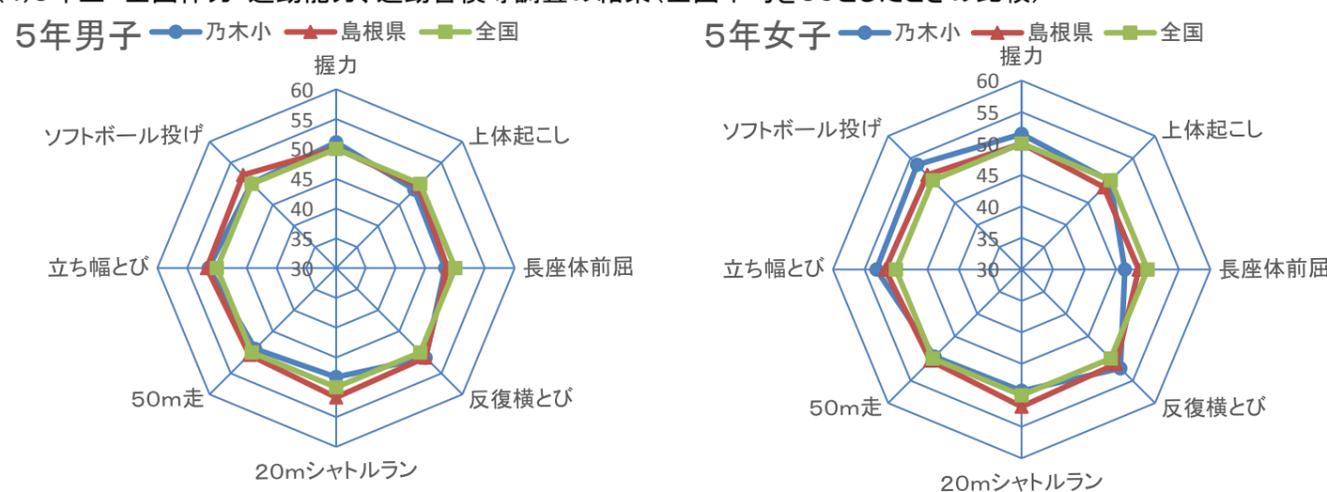
○運動に関する意識調査では、児童、保護者共に肯定的評価が90%を超えた。  
 ○委員会活動と連携して、全校シュート大会、全校長縄大会等のイベントを企画、実施したことで、児童は教科外の時間に進んで運動に取り組んだ。また、体育委員会による体幹トレーニングの紹介と頑張り週間を設定、実施した。  
 ○25m完泳では、天候に恵まれたことや各学年で工夫した指導(能力別指導など)を実施したことから、目標の60%を超えることができた。  
 H26・・・67.7% H27・・・58.4% H28・・・63.2% H29・・・62.4% H30・・・63.9%  
 ○年度初めに、5種目歩走の校内研修会を行い、今年度から体育の時間の初めに各クラスで継続的に行うことができた。  
 ●鉄棒で逆上がりができる児童の割合が、前年度より減り、目標の60%を達成することができなかった。  
 H26・・・49.6% H27・・・52.0% H28・・・50.6% H29・・・52.7% H30・・・50.9%  
 ●右表(5)の結果より、目標の提示は概ねされているものの、振り返りが不十分であることが分かる。引き続き、授業内容の改善及び修正、振り返りの時間の確保が必要である。  
 ●右表(5)の結果より、体力向上の目標を立てているという児童が県平均、全国平均を下回っているため、目標を立てる場面設定が必要である。

(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
- ・鉄棒で逆上がりができる児童の割合を60%に向上させるための取組みを継続して行う。
    - ◇校内に設置した鉄棒を効果的に活用する。
    - ◇鉄棒強化月間を設定する。
    - ◇年間を通じて、5種目歩走を授業時に取り入れる。それにより、体幹を鍛え、体力アップを図る。
    - ◇指導者研修を行う。
  - ・体育授業の改善を図る。
    - ◇めあての確認、学習の振り返りを適切に行う。
    - ◇教師による運動のポイントの提示。
    - ◇児童が互いに学び合う場面の設定。(グループ学習や技を習得している児童の見本。)
    - ◇教員同士の授業参観の実施、及び、体育に関する研修の伝達講習の実施。
  - ・体力・運動能力調査で大幅に県平均を下回っていた柔軟性と全身持久力を強化する取組
  - ・教科外体育の奨励
    - ◇委員会と連携したスポーツ大会の実施や、トレーニングの紹介。
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・地域の体育的行事に積極的に参加するよう呼びかけ、地域との連携を図る。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・栄養教諭と連携し、「食の学習ノート」「食生活を考えよう」を活用した授業を行う。
  - ・養護教諭と連携し、発育測定時などに生活習慣に関する指導を行う。

調査実施者数(人) 1年(男子16・女子14) 2年(男子15・女子11) 3年(男子62・女子84)  
 4年(男子15・女子13) 5年(男子74・女子77) 6年(男子14・女子16)

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)

